

花餅・お鏡餅つくって新年を



作ったばかりの花餅を前に、よい年を迎えられますようにと参加者全員で記念撮影

一之宮まち協だより

第32号

平成29年1月1日

一之宮町

まちづくり協議会

広報部

高山市一之宮町3087

電話 53-2424

お鏡餅をつくってお正月を迎えようと、12月25日に一之宮公民館で「年末お鏡餅づくり教室」が行われました。

この日は、お鏡餅に加えて花餅もつくって年末最後の日曜日を楽しみました。

まち協福祉部が開催したもので、子ども22人を含む親や福祉部のメンバー、それに長寿会の協力者ら50人が参加しました。

餅は、用意された6升のもち米を順次蒸した後、お鏡用や花餅用などに数回に分けて餅つき機でつくりました。

つき上がった餅は、花餅用に延ばして細長く切り、台木の枝に巻き付けて花餅を作りました。その後、餅とり粉でくっつかないようにして丸めてお鏡をつくりました。

粘りのある餅に苦戦しながらも子ども達は指導者の長寿会の会員らに教えてもらいながら楽しそうに仕上げていきました。

最後に餅を雑煮やきな粉餅にして昼食をとり、つきたての餅をおいしそうに食べていました。

最近各家で餅をつく習慣も薄れ、お鏡餅もパックの既製品を購入する家が増える中、手づくりお鏡餅で正月を迎えるのも格別かもしれません。

迎春飾り展 2017 酉

一之宮公民館では新年を迎えた1月に、町内の収集家からその年にふさわしい品々をお借りして毎年「迎春飾り展」が開催されています。

今年はずしの酉(とり)年にちなんで、江戸末期の飛騨の画家垣内右隣の鳥を描いた作品を中心に5~6点を展示しています。

展示されているのは、「蓬萊山図」や「日の出に鷹」の掛軸、鶴や鶏を描いた屏風、俵などの正月飾りです。

ぜひ公民館まで足を運んで鑑賞してください。展示は1月中旬までの予定です。



まぢよな人

おもてなし通じてより良い宮を
長年に渡り大正琴の演奏・指導

架場 教子 さん (洞下)

今回は、水無神社の敬神婦人会会長の架場教子さん(69)です。会員は30代から80代の女性で、270人ほどみえるそうです。大正時代に結成された神社への協力組織です。

普段は、祭事の衣裳着付けや直会のお手伝い、神社の清掃などをしてみえます。今はそれに加えて、今年開催される大祭に向けての準備があります。

大祭当日は、袴の着付けが主な仕事だそうです。しかし、実際に着付けができる人が少なく、これまで着付け教室を4地区で開催されました。各地区とも多くの人が参加してくださり、また大祭への協力の言葉をいただき、本当に宮の人たちの力強さを感じたそうです。



自作の桜の花びらや木の皮を使ったの押し花の作品と紅白の花餅のある玄関で

昨今は、地域の連帯が薄れがちですが、大祭を契機に、宮の人の心のこもったおもてなしを味わってもらおうことで、また、良い宮の地域ができていくのではないかと言われました。

実は、今回の「まぢよな人」への掲載依頼についても、敬神婦人会やその呼びかけに添えていただいていた人たちのパワーをみんなにも知ってほしいと、取材を受けていただきました。

架場さんは、宮中学校から子どもたちの声が家まで聞こえてくる、と言われました。高山市が合併した当時、市の教育委員長を務められ、教育への関心も高く、「子どもたちは元気でやっていますか?」と今でもよく学校長に尋ねることがあるそうです。

一之宮文化祭では、大正琴演奏を発表されましたが、朝日、夕々野、高山の会員で発表会もされるそうです。今月1回以上、練習をしてみえます。

始めてから38年過ぎ、今では小学生が習ってくれたり、大学卒業後、高山へ帰ってきて、また習いたいという生徒がいたりして、やっついてよかったと話されました。

師走に入りお忙しい中、自宅でお話を伺いました。多趣味で、桜の押し花を額に入れた手造り作品や正月にふさわしい紅白の花餅などが飾られています。

趣味や正月の準備など色々なことに計画的に、また、みんなのために気配りされる架場さんに「まぢよさ」を感じてきました。

(山腰)

水無神社式年大祭あれこれ 壺

飛驒一宮水無神社式年大祭齋行に向けて (大祭事務局)

◆飛驒の大祭(おおまつり)
飛驒の大祭とは、主催する神社が飛驒の國中の神社(神輿やまつり行列)を招請して、天下泰平・五穀豊穰などを祈願する飛驒地方独自のまつりのことで、全国でも類を見ない神事です。

その起源は飛驒一宮水無神社にあると云われ、江戸時代に飛驒地方で発生した大規模一揆、「大原騒動」によって荒廃した当社を大造営し、安永八年(一七七九年)の竣工遷座奉祝祭で、飛驒國中の代表神社を招請し、三日間に及び大まつりが行われ、大原騒動で疲弊した飛驒人の心機を奮い起こした様子から、世相の凶(あ)しき吉に返す世直しの大まつりとして、それ以来今日に至るまで、飛驒各地の神社において不景気の時や異変の後に齋行されてきました。

当社では、式年大祭の名分を以て、平成二十九年五月三日から六日にかけての四日間、昭和三十五年以來、実に五十七年振りとなる飛驒の大祭を齋行します。

◆大祭齋行に向けて
大祭齋行に向けて準備を進めていますが、現在飛驒地域から約三百社が七千人程度の行列等で四日間に参向される予定となっております。加えて縁故社である木曾福島の水無

神社からも御神輿(まくりみこし)を伴って参向される予定です。

また、一之宮町内を含め町外の多くの皆様から奉賛金や燈籠等の奉納品を受けています。今後、氏子の皆さまをはじめ町内の皆さまには、齋行にあたり各役割をお願いいたしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、大祭期間中は町内の一部の道路について規制することとなりますがこれもまたご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

◆大祭記念献詠短歌募集
大祭にあたり、ご神前に献詠する短歌を募集しています。

募集用紙は水無神社および一之宮公民館に準備していますので多数応募していただきますようお願いいたします。



昭和35年の大祭の様子



はるき 春希 くん 平成25年4月6日生まれ
お父さん: 野中 玄希 さん (山下上)
お母さん: 野中美保子 さん

ぼくのなまえ ☆ わたしのなまえ

「春希」という名前は春一番に生まれ、家族に明るい希望をもたらしてくれたこと、そして春の陽気のように心の温かい子に育てて欲しいという願いから名付けました。

春希は踏切が大好きで、宮の踏切で列車を見るのが日課です。おかげで家族は踏切の絵が上達し、庭にはお父さん手作りの踏切が立ちました。春希の頭の中はカンカンでいっぱいだそうです。

そんな春希もお兄ちゃんになり、4月からは待ちに待った保育園に行きます。たくさんのお友達と仲良く元気がいっぱい成長して欲しいです。

『ぼくのなまえ ☆ わたしのなまえ』に紹介するお子さんを募集しています!
詳しくは、まち協事務局(公民館内) ☎53-2424
✉ miyamachikyoo@hidatakayama.ne.jp
までお気軽にどうぞ!!

お知らせコーナー

■冬期の除雪について

①消防水利確保のための除雪について

冬期間における火災等の有事に備え、各地域の消火栓や防火水槽等の除雪にご協力をお願いします。また、防火水槽への排雪については、有効水量の減少等が懸念されますので、行わないようお願いします。



②要援護世帯の除雪等の協力について

積雪の季節を迎え、自分で除雪ができないなど、支援が必要な世帯の方より除雪の相談がありましたら、次の事項にご配慮いただき、ご対応いただきますようお願いします。

- ・扶養義務者や親戚等へ本人からの依頼や、費用負担が可能な場合、本人より業者へ依頼する働きかけをお願いします。
- ・地域の方々の連携で除雪対応が可能であればお願いします。
- ・上記による対応が困難な場合、ボランティアによる対応を検討しますので、社会福祉協議会までご連絡ください。
- ・民生委員にも同様の依頼をしておりますので、民生委員と情報を共有した対応をお願いします。

お問合せ：一之宮支所地域振興課 ☎53-2211

■モンデウススペシャルホリデーのお知らせ

◆日時 1月15日(日)午前10時～午前中

◆会場 モンデウス飛騨位山スノーパーク

※当日の1日リフト券購入者(先着800人)を対象に抽選で豪華賞品が当たります。

ステージイベントとして紅忍の太鼓演奏や豚汁の振る舞いもあります(なくなり次第終了)。

■どんど焼きのお知らせ

◆日時：1月8日(日)午前9時30分

◆場所：水無神社

同日の午前8時頃から子どもが各家庭を回って集めます。

しめ飾りや神符(おふだ)など焼却するものがありましたら用意しておいてください。

神事終了後甘酒がふるまわれますので、ぜひご参加ください。



みなしくん 水無君

一之宮短歌会作品より

三木藤次郎

末席に終始黙せし会議なれど

家に帰れば疲れを覚ゆ

こだわりの多き人の世あざ笑ひ

「太陽」はくまなく下界を照らす

永田和子

お茶に華に歌会に級友会と

さわやかな笑顔残して黄泉の旅路へ

成せば成る成さねば成らぬ身障の

バラリンピック心に響く

森本浩資

花もたせいいつもアホでいられたら

気楽なものです一歩さがって

義父背負い日赤あとに一重ケ根

人波かきわけ終の住処

図書館だより

新年明けましておめでとございます。今年(1月4日(水)より開館します。1月4日(水)～9日(月)はスタッフの滞在時間が午前10時～午後5時までになります。2017年も一之宮分館をよろしくお願いします。

■今月の特集
「ぬくぬく、冬の温かい絵本」
温泉の絵本や、心温まる優しい絵本を集めます。

■おはなし会のご案内
1月21日(土)午前10時30分～スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。
申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

【予告】「一之宮分館」蔵書点検による休館のお知らせ
高山市図書館一之宮分館は、通常の休館日に加え、蔵書点検のため2月20日(月)～24日(金)まで休館します。

～公民館から～

■展示コーナー

迎春飾り展(1月中旬まで)

■1月の公民館定休日

1日(日)～3日(火) 10日(火)
23日(月)

■1月の位山交流館定休日

1日(日)～3日(火) 10日(月)
16日(月) 23日(月) 30日(月)

1月の行事予定

| 20 | 14 | 11 | 10・6 | 5 | 2 | 日 |
|----------------|----------|---------|----------------------------|---------------|--------------------|------|
| 金 | 土 | 水 | 火・金 | 木 | 月 | 曜 |
| 町内会長会 (公民館) | サタデイサークル | 小中学校始業式 | スキー教室(長児対象) (モンテウススキー場) | 結婚相談 (交流館) | 行政相談・心配ごと (公民館) | 行事内容 |

一之宮町の人口情勢

12月1日現在・単位：人

| 世帯数 | | 819戸 | |
|--------|-------|-------|-------|
| 年齢 | 男性 | 女性 | 合計 |
| 0～14歳 | 175 | 159 | 334 |
| 15～64歳 | 682 | 710 | 1,392 |
| 65歳以上 | 346 | 473 | 819 |
| 合計 | 1,203 | 1,342 | 2,545 |

編集後記

あけましておめでとうございます。旧年中は、まち協だよりを読んでいただき、また編集にご協力をいただき誠にありがとうございました。本年もご協力をよろしくお願いいたします。(山腰)

つぶやき

新しい年を迎えることができ、大いなる力に感謝し、皆様の多幸をお祈りします。

歳をとると一年が速く過ぎるように感じ、去年残り残したことが何と多いことかと反省しています。一年々を大切に生きようと、年頭に思っているのですが、毎日の生活に追われ忘れてしまい、自分の未熟さを痛感します。一之宮町に住まわせていただき数十年が経ち、地域の方々との交わりの中で、私の人生は成長していると感じています。世の中では、色々な問題が起こっていますが、先ずは、地域の子どもからお年寄りまでが、安全で安心して暮らせる地域づくりの活動に協力することが、わたしの人生を豊かにしてくれると思っています。今年もよろしくお願いします。(髙野)

山下地区で寄せ植え教室 冬の間も花を楽しめます

山下地区では11月13日、講師に宮崎園芸さんを招いて、「寄せ植え教室」を行いました。

秋から冬にかけてのおすすめの花として、耐寒性のあるガーデンシクラメンや紫・黄色・白など色とりどりの小さくて動きのあるビオラがあります。その隙間に植えるのに細やかな可愛らしいアリッサムは丁度よく、また、背の高いコニファーは高低差を付けてくれます。

この日はそういった花を使って、それぞれの色味ある素敵な寄せ植えが完成しました。冬の間も長く楽しませてくれることでしょう（牛丸）



手づくりの寄せ植えが、この冬を彩ります

更生保護女性会が交流 園児が歌のプレゼント

地域における犯罪予防の活動や子供達の健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティア団体、

一之宮更生保護女性会（松垣あさえ代表）のメンバー5名が12月14日に宮保育園を訪れ、園児との交流を行



お菓子和マスクットを渡す会長

いました。

園児の歌のプレゼントでは、どの子も大きな口を開けて元気いっぱいに歌った後、音楽に合わせてリズム遊びを一緒に楽しみました。

お別れに、お菓子とメンバー手作りのマスクットが園児一人ひとりに手渡されると、「カバンにつけるよ」「家に飾るよ」とありがたうの気持ちを笑顔いっぱい伝えてくれて、外の寒さを忘れさせてくれる、温かい交流会となりました。（野口）

サンタ交えて読み聞かせ おはなし会スペシャル

高山市図書館一之宮分館の「おはなし会スペシャル」が12月3日、一之宮公民館で開かれ、町内の親子50人がサンタクロースと共に楽しいひとときを過ごしました。

一之宮分館で毎月開かれている「おはなし会」のスペシャル版で、毎年この時期に「クリスマスおはなし会」として行われています。

この日は「まじから★おくりもの」など絵本3冊の読み聞かせ、歌を交えたパネルシアターを楽しんだ後、ゆきだるまのペーパーサートを作りま

した。

最後にサンタを先頭に「ゆきやこんこ」を歌いながら行進が始まると、会場には子どもたちの笑い声が響き渡りました。（野口）



歌を歌って行進する子どもたち

「見守り隊」感謝の会 宮小「がりゅう発表会」で

12月9日に宮小学校で開かれた「がりゅう発表会」の中で、「子ども見守り隊」の感謝の会が行われました。

子ども見守り隊は、一之宮町まち協のボランティア活動の一環として、児童・生徒の登校時に通学路に立ち、子どもたちの安全の見守りと子ども



児童から感謝の花を受けとる隊員

たちとの交流を行っています。

感謝の会には、見守り隊15名の内8名が参加し、宮小校長の松下操先生や児童代表から、ねぎらいと感謝の言葉、それにかわいのお花をいただきました。

参加した保護者や地域の人も「子ども見守り隊」の理解と協力をお願いしました。

「がりゅう発表会」では、学年ごとに自分たちの体験で感じたことや思いをうまく発表していました。地域と協力して宮川をはじめ、一之宮町をきれいにしたいとの5年生の発表には、大人たちも真摯に向き合っていたと感じました。（伊藤）

各子ども会でクリスマス 白樺子ども会ではビンゴ

町内の15の子ども会ではそれぞれクリスマス会が行われました。

このうち12月25日に開かれた白樺子ども会では、14人の子どもたちが野添公民館に集まって食事会やレクリエーションをして楽しみました。みんなでクリスマスケーキとチキンを食べた後、ビンゴゲームを行



ビンゴを楽しむ子ども会員

ました。ビンゴした子から好きな大きさの景品を選びというもので、ドキドキ、わくわくの楽しいクリスマス会になりました。

今季の降雪と安全を祈る モンデウスで安全祈願祭

モンデウススキー場の安全祈願祭とスキー場開きが12月21日に開催されました。

大勢の関係者が集まるなか、神事の後來賓祝辞などが行われ、雪不足に悩まされた今年のシーズンを振り返り、「今年こそは！」といった期待の声が聞かれました。

スノーマシンによる雪作りが着々と進むなど、なんと今年末には間に合わせようと造雪スタツフはフル稼働で働いていました。（中島）



あいさつする西倉理事長

一之宮公民館が迎春準備 ボランティアが清掃奉仕

一之宮公民館ボランティア清掃が12月11日に行われました。

奉仕作業をしたのはまち協の文教部員で、31人がガラス拭きと庭掃除を行いました。公民館はすっかりきれいになり、新年を迎えます。ありがとうございました。